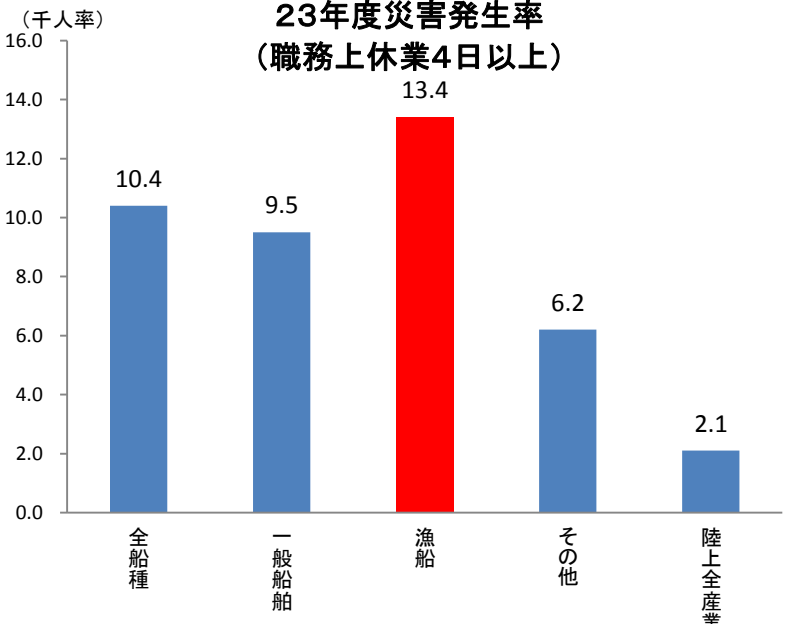
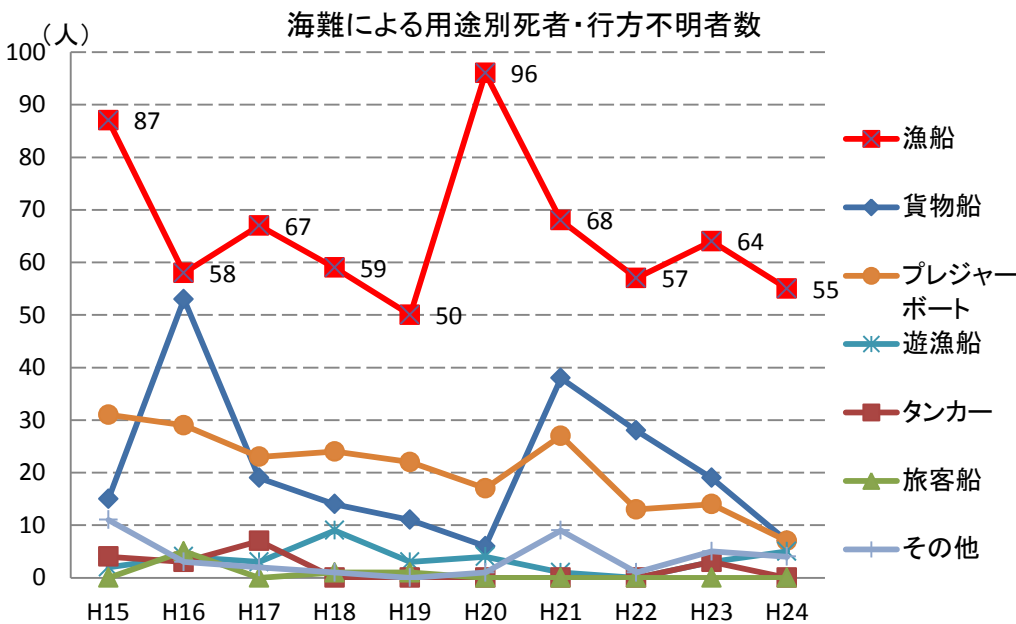


# 10月は全国漁船安全操業推進月間です！

## 目的

- ・漁船安全操業に関する漁業者意識の向上
- ・ライフジャケット着用率の向上等による人身事故発生数の減少
- ・安全航行・安全操業の徹底による漁船海難発生等の減少

漁船での操業は、いつも危険と背中合わせです  
 (海難による死者・行方不明者の約6割が漁船、  
 労働災害発生率は陸上産業の約6倍です)



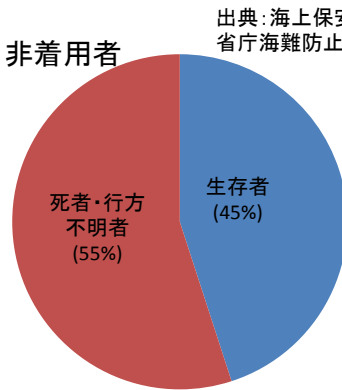
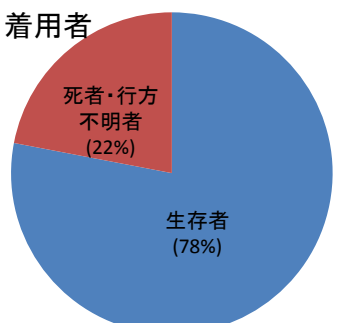
出典: 海上保安庁「関係省庁海難防止連絡協議会資料」

出典: 国土交通省海事局船員政策課

自分の命を守るため、家族と仲間のため、  
 ライフジャケットを必ず着用しましょう！

- ・ライフジャケットは、万一の海中転落の際、自分の命を守ってくれます。
- ・行方不明になった場合、死亡認定まで何年もかかることがあります。
- ・行方不明になった場合、仲間は長期間、漁を中断して捜索することになります。

ライフジャケットの着用・非着用別生存率(平成24年)



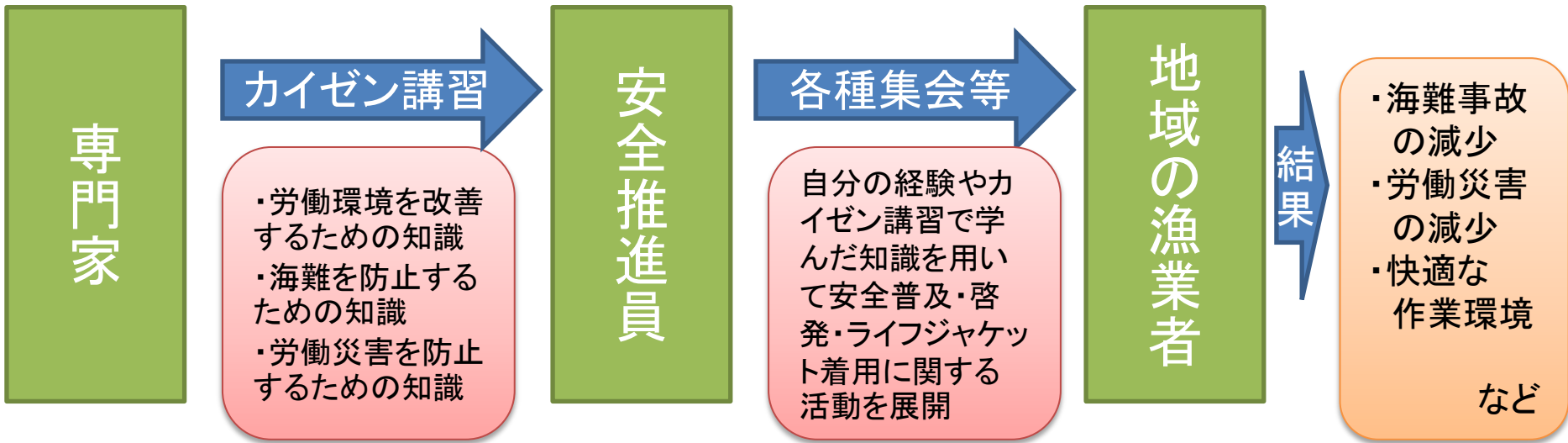
出典: 海上保安庁「第7回関係省庁海難防止連絡協議会資料」



現在、ライフジャケットは昔からある固型式のチョッキタイプだけではなく、膨張式の首掛け式、ベルト式、ジャンパー式、また固型と膨張式を組み合わせたもの、さらには膨張式には自動式と手動式があるなど、たくさんの種類があります。  
 それぞれの特性を理解した上で、自分の体型や作業内容、時期などにより適した種類を選ぶようにしてください。

# 10月は全国漁船安全操業推進月間です！

「カイゼン講習会」を活用して、海難防止と漁業労働環境の改善に関する知識を有する「安全推進員」を養成しましょう



安全推進員は、地域や漁船の中で中心となり安全の普及・啓発活動を行い、漁船の労働環境の改善や海難の未然防止等について知識を有する漁業者のことです。水産庁の補助事業を活用して、専門家を派遣しカイゼン講習会を開催することができます。

運輸安全委員会のホームページを安全操業に活用しましょう！  
(過去の海難事例から事故防止策などを見ることができます。)

## 船舶事故ハザードマップ

地図から探せる事故とリスクと安全情報



## 死傷等事故(船内労働災害を含む)に関する報告書検索

「海中転落」、「転落・転倒」、「巻き込まれ・はさまれ・あてられ等」など、災害の種類によって海難を検索することができます。

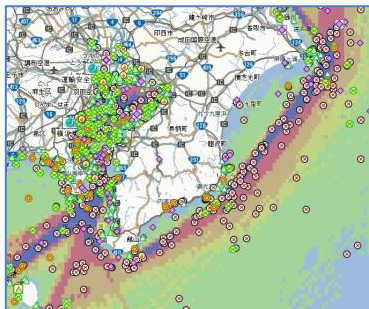
The screenshot shows the search form for accident reports. It includes fields for year, month, and day, and a dropdown menu for disaster types. A callout bubble highlights that users can search by disaster type. The dropdown menu is open, showing options like '海中転落' (Overboard), '転落・転倒' (Fall/Overturn), and '巻き込まれ・はさまれ・あてられ等' (Caught, Crushed, or Struck).

<http://jtsb.mlit.go.jp/jtsb/ship/sailordisaster.php>

### こんなことも分かります。

交通量を表示すると貨物船等の航路が分かります。

模型実験やCG映像で事故を再現しています。



<http://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/>



運輸安全委員会  
Japan Transport Safety Board

運輸安全委員会は、年間約1,000件の船舶事故等を調査して報告書をホームページで公表しています。

<http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>

幹事団体：(一社)大日本水産会

協賛：全国漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、漁船保険中央会、(公財)漁船海難遺児育英会、

(一財)中央漁業操業安全協会、(一社)全国漁業無線協会、NPO法人水産業・漁村活性化推進機構、(一社)全国漁業就業者確保育成センター

後援：水産庁、国土交通省、海上保安庁、運輸安全委員会、海難審判所